

# 文芸 さくらがわ

## 俳句

【桜川市岩瀬「萩」俳句会】

地震の傷癒えぬ畦道青き踏む 小林 啓治  
 春愁や余震のいまだ続きをり 萩原 勅彦  
 地震の国去る白鳥を妬みけり 藤田 凡鐘  
 久しぶりあの人この人花の句座 小林 フク  
 陽炎の奥に微笑む観世音 三代 みちよ  
 町の触れ待ちて野焼きの始まり 渡辺 いし  
 震災もみな受け入れて咲く桜 入山 ひろ子  
 春愁の山在り余震また余震 若色 寿美女  
 道へだつ中学校の楓の芽 金田 とう女  
 北窓を開ければ余震のまたつよし 永瀬 ちい  
 笹鳴きや五重の塔の影の中 細谷 充女  
 被災地へ心よせつつ花筵 萩原 さしの  
 【茂山俳句会】  
 花ミモザ男出てくる美容院 井坂 洋子  
 千万の憂いを照らす春の月 君島 真理子  
 湯たんぼの温み身に沁む震災夜 宮本 芳江  
 ひとりひとり卒業式の佳き返事 鈴木 ノブ子  
 春の地震爪跡深き無情かな 今井 繁子

三月を打ち毀したる地震津波 海老沢 静夫  
 里山のをちこち野梅の透けて見え 吉原 秀子  
 門柱の崩れしあたりすみれ咲く 笠倉 陽子  
 蒔き終へて夢のふくらむ種袋 田崎 信子  
 花吹雪く真つ只中の車椅子 松崎 いま  
 梅咲いて余生確かな運がある 植田 祥雲  
 春耕のエンジン響く空いつばい 大関 くに  
 火男の仕舞可笑しゅう春祭 竹林 てる  
 彩を誉めて戴く春の膳 鶴見 菊江  
 雑木山弥生のひかりこぼしけり 海老沢 幸子  
 春昼の町いくたびも地震の波 飯山 昭  
 【やまと早蕨歌会】  
 明日から米寿が原の水を汲む振りかえり見  
 る八十路七坂 笠倉 仰雲  
 やわらかき若葉もれくる朝の陽に露にゆと  
 うと庭の芝草 木藤 とみ  
 小正月雪見する景色ぶり小枝ボーシも風鈴  
 の如し 佐藤 悦子  
 春浅く湖上にあそぶ水鳥の足の力をわたし  
 も欲しい 田中 きみ  
 早苗田に宙返りする親つばめ休まずひなの  
 餌を求めて 中原 すみ子

里川の流れる水もささらぎて野芹の芽生え  
 さみどりに照る 中島 龍子  
 花を覗づ里山の紅葉も愛でぬまま黄泉のく  
 にへと旅たちし君 北条 正子  
 幾年もこぐらき部屋に藤の椅子どつかと座  
 る亡父を思ふ 皆川 米子

## 俚謡

【さくら俚謡会】

春の夜風にくちづけされてうれし恥ずかし  
 猫柳 つく志 輝美  
 地震被害に心が痛む元氣おくれよ鯉幟  
 岩瀬 きみ子  
 P 百姓魂田植えに燃えて明日に気を揉むTP  
 田哲人

## お詫びと訂正

前月号の中に誤りがありました。お詫びし  
 て訂正いたします。

【岩瀬短歌会】

誤 姐の音弾ませて七草を刻む厨に朝は入り  
 来る 石田 守子  
 正 姐の音弾ませて七草を刻む厨に朝日入り  
 来る 石田 守子  
 誤 ほとほと温もる余具に雪の夜の母の湯  
 たんぼ思い出したり 大久保 富美江  
 正 ほとほと温もる夜具に雪の夜の母の湯  
 たんぼ思い出したり 渡辺 ひな子

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111-75-3111、内線1268

広報 さくらがわ